

Morita
Mamoru
Report
vol.16
2025.6



京都と子どもたちの明るい未来を守る!!

新 京都戦略 始動

5月市会
代表質問

文化
神輿などの財産にも
支援策を

森田守

京都の長い歴史の中で育まれてきた貴重な財産の中には、歴史上、学術上または芸術上、価値が高いものの文化財に指定されていないものが数多くあると推測されます。

例えば、市内に数多くある神輿の修復には多額の経費が必要ですが、ほとんどが文化財に指定されていないため、修理改修にかかる補助が受けられず、老朽化が大きな課題となっています。このように各地域の人々が脈々と歴史を紡いできた財産の保存継承に向けた支援が必要ではないでしょうか。

令和7年度予算においては、こうした状況を踏まえて文化財を次世代へ確実に継承するため、保存と活用との更なる好循環の創出を図っていくための予算等を増額したところかと思いますが、今後、貴重な文化財をどのように守り、活用していくのか、今後の展望をお伺いします。

松井市長

今年度は、大規模修理や耐震化に

も対応できるよう、文化財修理に係る予算を大幅に拡充すると同時に、所有者の負担軽減に向け、検討を行うこととしています。

企業や個人の皆様からのご寄付を財源として文化財保護事業への支援を行う「Arts Aid KYOTO」の更なる利用促進や、文化財の価値発信を通じて支援者の裾野拡大などにも注力しつつ、文化都市・京都として文化財の保存と活用の好循環の創出に向け一層の取組を進めてまいります。



京北
急がれる
京北地域の活性化

この20年間で、京北地域の人口は、6300人から4300人に減少、高齢化率は34.0%から、48.4%と、人口減少、少子高齢化に歯止めがかからず、基幹産業である農林業も、長い低迷が続いています。これまで我が会派が要望してきた右京区社会福祉協議会京北事務所

の移転などの課題や、京北地域の未来について、地域の方々が希望や期待を持てるよう、今後どのような活性化策を講じていかれるのか、市長のご所見をお伺いします。

松井市長

京北地域におきましては、地元有志により「京北観光連絡会」が、令和5年度に発足するなど、産業・経済・文化の発展に向けた新しい取り組みが進んでおります。

今年度はさらに、右京区社会福祉協議会京北事務所を京北出張所内に移転するとともに、出張所が地域における結節点としての役割を一層担っていくべく、地域住民とのつながり・支え合いの場の創出に向けた検討を行っているところでです。

あわせて、地域医療を、将来にわたって支えていくため、現在、その中核となる京北病院の機能のあり方を議論しており、オンライン診療の導入や地域の福祉施設との連携強化などについて、検討していきます。

引き続き、高齢化等の地域課題にしっかりと向き合うとともに、令和8年度末で期限を迎える過疎債も最大限活用し、関係人口の創出や移住促進の取組など、京北地域の活性化に向けた取組を力強く進めてまいります。

令和7年度予算 3年連続収支均衡

予算

すべての人に
居場所と出番を

京都市の令和7年度一般会計予算は、9,575億円とコロナ禍に編成した令和3年度予算に次ぐ、過去2番目の規模となりました。一時期危機的な経営状況となった京都市財政ですが、堅調な市税収入にも支えられ、3年連続で収支均衡を達成、計画外に取り崩していた公債償還基金（将来の借金返済のために積み立てたお金）についても計画通りに返済が進んでいます。

観光客の増加に伴う課題の解決に向け、来年3月から宿泊税の上限を引き上げることをはじめ、市バス等の市民優先価格への挑戦、市バスの混雑対策、また京都駅の混雑解消や手ぶら観光の推進が盛り込まれました。また、人口減少、特に子育て世帯の市外への流出を防ぐために、第2子以降の保育料無償化、子育て世帯を対象に、中古住宅を購入しリフォームする場合の奨励金を計上しています。松井市長が掲げる「突き抜ける世界都市京都」の実現に向け、私も、引き続き努力してまいります。

地域課題

解決に向けて

西院

阪急西院駅前
歩道拡幅

阪急西院駅は、1日の乗降客数が約4万人にのぼり、朝夕の通学・通勤時間帯には、多くの人の往来があります。一方、駅前広場等がなく、バス停や歩道の混雑が課題となっています。

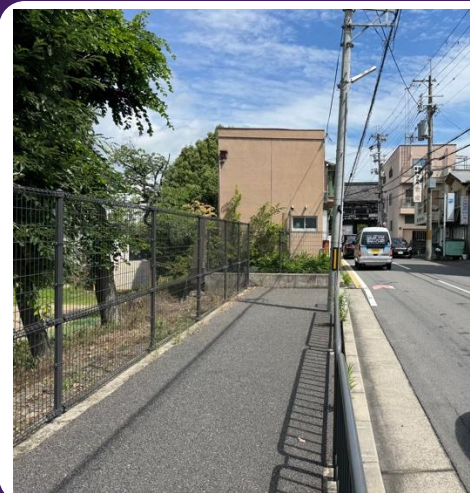
今年度京都市では、西大路通～春日通間の南側歩道において拡幅工事を計画しており、更なる歩行空間の確保。バス待ち環境の向上が図られます。東春日通～春日通間の歩道環境整備は来年度以降に実施される予定となっています。



太秦

太秦小学校東側
歩道延長

太秦小学校の東側の一般府道太秦上桂線では、太秦小学校の体育館新築工事に合わせて、太秦学区から歩道の新設要望が出され、教育委員会が敷地を提供し、平成30年度に、建設局が小学校前の区間において歩道整備工事を実施していただきました。が、歩道の北端部分は、約30mの区間において、歩道が途切れており、歩行者にとって危険な状態が続いています。歩道の延長整備が実現すれば、太秦小学校の北側道路とながり、より安心・安全に地域の子どもたちや地元の方々が通行できることから粘り強く要望してきましたが、今年度、実現に向けた第一歩として、測量作業が実施されることとなりました。



森田守 プロフィール

昭和50年 6月15日生まれ
平成10年 同志社大学法学部法律学科卒業
平成10年 (株)セブン-イレブン・ジャパン
平成16年 二之湯智参議院議員秘書
平成27年 京都市議員初当選(現在3期目)
現在 予算・決算特別委員会委員長
都市計画審議会委員
家族 妻・娘3人・息子2人・猫3匹
趣味 キャンプ・スキー・マラソン

京都市議員 森田守 事務所

〒615-0027

京都市右京区西院西三蔵町9-1

Connect西院2F

T&F 075-313-0023

M moritamamoru.kyoto@icloud.com



自民党



Homepage



Facebook



X



Instagram